

「フードバンク」の取り組みについて

背景・経緯

フードバンクとは、安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で流通に出すことができない食品を企業などから集め、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。この活動は、食品廃棄物の「再使用」「再利用」「再生化」を通じて「食品ロスのない世界を実現すること」を目指しております。岡山県においても主な小売業がこの活動を始めており、当社も一般社団法人『ジャパン・フードバンク・リンク』の呼びかけに賛同し、2017年11月より取り組むことといたしました。

目的

- (1)廃棄コスト、環境負荷の削減
- (2)従業員の士気高揚
役立てるために寄付することで、従業員が自分の会社に誇りを持つ
- (3)社会貢献活動の実施
企業の社会的責任(CSR)を果たす社会貢献活動の一環



対象商品

- (1)廃棄登録された商品(グロサリー、菓子、雑貨品等) ※常温管理できるもの
包装破損、形状破損、棚替え後見切り販売が困難なもの等。
但し、賞味期限があるもの。(最低1ヶ月以上が望ましい)
- (2)その他 メーカー頒布品(おまけ:試飲缶、カップ、皿、バック等)

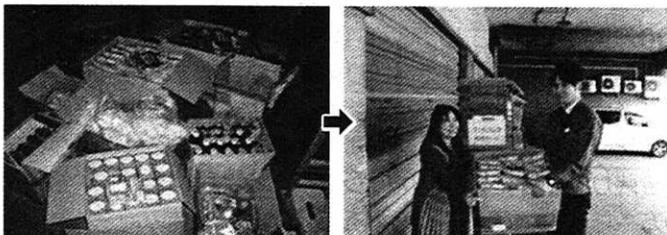


稼働店舗&今後の予定

- ・2017年11月より 原尾島店、岡南店、国府市場店
- ・2018年3月より 赤坂店、吉井店、山陽店(赤磐市内店舗)
- ・2018年年度 全店稼働に向けて調整中

取り組み事例

★原尾島店(2017.11/25スタート)



梱包破れや景品(一例)

商品のお渡し風景

★2017.12/31 山陽新聞掲載



東内スーパー活性化

福祉施設や団体に商品

★今後の活動



(株)丸久様の例

山口の(株)丸久様の店頭での「フードドライブ」活動です。これは事前にお客様に日程をお知らせし、家庭に余っている物を持参していただいております。今後当社でも活動を行うことを現在検討しています。

2017.12/31(日)

山陽新聞全県版に『フードバンク活動』の実態と当社の取り組み活動(原尾島店での積み込み状況)が紹介されました。